

知事コメント

(JR 東・西日本発表 北陸新幹線の令和 2 年 1 月 6 日 (月) から 2 月 29 日 (土) までの臨時ダイヤについて)

令和元年 11 月 28 日

富山県知事 石井 隆一

本日 JR 東日本・西日本より発表された、北陸新幹線の令和 2 年 1 月 6 日から 2 月 29 日までの臨時列車については、三連休や週末を中心に臨時「かがやき」・臨時「はくたか」が一日最大 7 往復、計 195 本設定 (うち新高岡駅に停車する臨時「かがやき」は 14 本、臨時「はくたか」は 5 本設定) され、「かがやき」・「はくたか」・「つるぎ」の定期列車と臨時列車を合わせれば 4,925 本と、昨年同時期と比較して約 98% の本数が確保されたものとなっており、完全復旧までには至らなかったものの、JR 側の努力を評価し、歓迎したい。

県としても、これまで、早期の通常ダイヤへの復旧と新高岡駅に停車する臨時「かがやき」等の臨時列車の設定について JR 東日本の深澤社長や国交省の水嶋鉄道局長に直接面談するなどの働きかけを行い、去る 14 日の北陸新幹線建設促進同盟会等 5 団体による合同中央要請においても臨時便を含めた早期完全復旧等を国や政府与党に対して要望したところであり、改めて感謝申し上げます。

JR 東日本・西日本におかれては、これまでと同様、引き続き、臨時列車も含めた早期の完全復旧と再発防止に向け真摯に取り組んでいただきたい。県としても、新高岡駅に停車する臨時「かがやき」や黒部宇奈月温泉駅に停車する臨時「はくたか」の設定など繁忙期を含めた臨時列車の復旧や、完全復旧までの間の利用者の利便性確保等のため、幅広い関係者の皆様と連携しながら、関係機関に要請していく考えである。